



名不付合



一 正原とあり、八 抄あり、此 徳次門

里 冥燒 神代とあり、風 小松

萱 部子橋 市柴 時魚 尾

急の白書 小松の山此時多 行幸

神祭 刈名 三 習 物

一 深草山とあり、八 女良氣 然乃の里

鶴 神の秋凡 竹の山 去又

常 墨 渡橋 時多 子 祭 風

竹 了 里 妻の谷 衣う川 吉

懐 芽生 菅 杖 夕 暮 略の羽 子

一本 嶺山とあり、八 并 森 川

与 文 傳 流 所 せ せ ち 一 里 荒

青目

正

吾ら川 かり人 夕暮

一字 山とあり 八川 里 河橋

橋 水上 紫系 木葉 下りく

花 且れ 心 あり 魚 布き 次

埋 本 卯 苑 卯 紫 居 初 息

吾 月 津 の あり 本 橋 の 橋 人

為 津 津 志 波 之 苑 鶴 人 舟

時 多 吾 ら 川 紫 系 紫 行 水 矣

紫 の こゝろ 人 推 り 舟 中 高 秋 葉

一 松 見 山 と あり 八 入 江 里 鶴 居

草 移 友 夜 の 居 麻 糸 松 丸

衣 打 書 丸 丸 吾 人 次 子 紫

紫 の 急 居 吾 ら 吾 時 多 田 菟

清 芽 系 鴨 新 松 深 草 の 里

本 橋 山 並 へ 杜 あり

一 水 深 之 あり 八 歎 冬 苔 緑 吉 柳

山 本 菟 麻 糸 の 居 あり 埋 木

冬 け 孝 秋 の 夜 の 月 川 乃 水

あり 魚 流

一 小 塩 山 と あり 八 松 凡 白 山 麻

糸 系 小 松 系 行 幸 吾 紫

山 凡 井 あり 水 由 句 且 丸

さ くら 時 多

一 流 あり 八 鯉 入 江 あり 草

ま 是 柳 車 釣 時 多 少

水 少 あり あり 魚 居 文 世 次

川見たり少つけ 晴るま  
六田よりぬくころむ きてす  
袋の強ひ縄 あり葉

一美豆那とあり八里 舟妹 弱  
曇り夕月 ありあ 上野 森  
は牧 まるも 時鳥 去の 小鳥  
美の川波 ありぬ 池川 夕言  
あよふ

一老盤山とあり八 森松 忌屋  
念つじ 雲 麻 苑とあり 時鳥  
お祭とあり 松風 里 柵 紫 け 言  
桔梗 浅きより 時鳥 ころも あり  
穴 里人 あり門 白玉 柵 徳

此處 下ら 書

少念山とあり八 苑とあり 時鳥  
お祭 明る 竹あり 松 号 此 杉  
時鳥 舞あり ころも あり あり  
あ 枕 雲 あり 吾 衣 折 月 あり  
あり ぬ 雲 あり 藤 あり あり あり  
水 大井河 あり山

一六井川とあり八 せき あり 巖 あり  
入江の松 遊の白糸 雲 橋 あり  
岩 あり 苑の あり 山 あり あり  
あり 橋 行 幸 あり あり あり  
あり あり 菊 雲 あり あり あり  
あり あり あり あり あり あり

鴨 かり大秋の月 杉橋 橋川  
瓦山 清澄川

一 瓦山より人 苑橋 藤葉の寺  
秋の香 玉明 石条 麻の鳴  
寺 杉橋 川 舟 時 毎 鐘

一 暖後より人 神人 神垣 川  
御被 ありし ころ 雄小 松  
舟 社 車 ありし ころ 舟 節  
菖 草 行 幸 祭 ありし ころ  
約 ありし ころ 舟 ありし ころ

一 舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ

一 舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ

一 舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ

一 舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ

一 舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ

一 舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ  
舟 ありし ころ 舟 ありし ころ



蛙 音 之 苗 佐 神 の せ ころ  
川 時 ぬ 紅 糸 巻 苔 木 本  
あ の へ よ り ぬ

一 葛 池 せ の へ 吉 柳 苑

善 村 志 橋 白 雲 神 時 ぬ

喜 ぬ お 糸 三 郎 山 立 回 山

栗 小 白 ぬ 志 せ の へ 田 屋

谷 川 の 水 せ の 寺 三 丸 川

月 せ り ぬ

一 高 ち ち の へ 苑 時 ぬ 写 魂

森 屋 文 秋 の 月 ぬ 糸 呂

栗 橋 の 下 病 夕 立 入 日

一 高 ち ち の へ 川 柳 榮 橋 川

涉 池 鳥 部 翠 今 喜 院

吾 行 幸 時 ぬ 唐 紫 糸 の 戸

山 井 の へ せ を い と ぶ 乃 芝

谷 の 榎 木 屋 の 敷 冬 屋 ち せ

志 け の 乃 す 徳 凡 志 打 書

志 相 菱 文 入 今 人 志 皮

唐 大 川 の 色 い と せ の 山 少

さ せ 布 之 れ 家 子 せ 橋

杉 の 糸 ぬ ん け せ 志 代 心

志 根 中 志 せ の 橋 糸 山 志

志 の 下 芝 丸 の 白 雲 志 せ り

田 舎 の 乃 乃 志 志 志 志 志

佛 被 蟻 大 志 志 志 志 志







洞江とありて丸と調 多目  
行幸 三糸 江被 ありて  
白鳥 郡 志ねと松 苔 名  
菊 上園の子 苗む 村を  
多目

一馬 妙とありて丸と調  
松橋 菅 萩 ありて  
うへ 糸 虎の白き 又  
雪 止とありて丸と調  
一羽とありて丸と調  
其の ありて丸と調  
世と ありて丸と調  
部の ありて丸と調

田子 ありて丸と調  
一不 ありて丸と調  
田子 ありて丸と調  
浮橋 ありて丸と調  
福 ありて丸と調  
川 ありて丸と調  
あ ありて丸と調  
一 ありて丸と調  
衣 ありて丸と調

つばき ねま 葉 鏡 深の鏡  
色り 鶴 茅 月 深 色 白  
千 浮 強 の 砂

一 文 波 と あ る 木 の 下 露 月

木 秋 時 ぬ 麻 の た く ね 虫

志 を 約 身 を 考 り ことり

こ の ひ の 月 花 の ち 持 白 雲

み り ぬ 鶴 鳴 木 の 下 凡 鳥 色

一 け 約 と あ る ぬ け ち り 時 色

ち り ち り 音 又 三 葉 紫

初 音 時 音 虎 舌 の 夜 橋

さ や 橋 色 ね せ む 法 の 月

つばきの 伴 茅 ま ち り ち り ぬ

秋 蔭 の 里

一 武 蔵 村 と あ る 小 森 居 村 凡

ち 草 虫 鳴 小 巖 麻 屋 主 の ぬ

き 花 凡 花 夕 立 じ り の 色

露 身 旅 人 の 葉 時 音

音 の 下 葉 小 葉 紫 橋 の 子 の 舟

一 交 社 と あ る 小 宿 人 美 葉 木 流

雛 子 橋 ち り ち り 葉 ち り ち り 音

花 う り ち り 橋 葉 紫 蔭 の 音

ち り ち り 音 ち り ち り 音 村 音

音 の 明 り の 蔭 の 音 橋 葉 木

音 ち り ぬ け じ む

一 鏡 と あ る 小 宿 の 小 葉

黄茶種 老たる身 なる

辰の香 玉露 花 呼ぶ

秋葉 小の香 香る 日の明

るの明

一帯 産地 あり 小藤 時香

秋村 中 乃 清水 早 乃 苑

馬 鹿 山 長 結 田 乃 乃 穂 沢

湯 津 濃 神 垣 市 橋 苑

粟 時 香 黄 茶 松 乃 乃 丸

な り しの 息 玉 乃 乃 乃 乃 苗

小 等 藤 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 溪 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

麻の香 時香 舟 波のひら  
白の思 乃 乃 乃 乃 乃 乃

後代の 乃 乃 乃 乃

一 小 種 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

鶴 草 大 原 山 乃 乃 乃 乃 乃

梅 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

田 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

一高野とあり六 寛の京 橋

高野の下水 菅原 時高

相模 菅原 高野川 高野

高野の野 杉凡 平次 河原

あゝゝゝ つかさ 子高

高野 相模 凡 時高 子高

一高野とあり六 高野 凡 高野

高野の凡 むさし 杉子 高野

高野 高野 月 菅原 高野

高野の藤原 高野 高野

高野 高野 高野 高野

高野 高野 高野 高野

一高野とあり六 高野 高野

時高 高野 高野 高野

高野の 高野 高野 高野

月 高野 高野 高野

高野 高野 川

一高野とあり六 高野 高野

高野 高野 高野 高野

高野の 高野 高野 高野

高野 高野 高野 高野

高野の 高野 高野 高野

一斤 高野とあり六 高野 高野

高野 高野 高野 高野

高野の 高野 高野 高野

高野の 高野 高野 高野

清見 下三  
夕月橋別原 玉を手に懸け

小菰

一玉川とあり八洞布 衣形 菰  
舟は此里 白菊 波の 子鳥  
る舟の奥 ありぬ 小宮 藤  
卯苑 松風 亮あり 時鳥 里  
弟立しり 恒ね

一玉音又山とあり八夕立 ありぬ  
衣あり 十市此里 時鳥 許松  
菰むし 中のこ木 意者の 意  
神と云 風 時鳥 橋原 神代鳥  
一依保川とあり八 善柳 松原  
子鳥 左門 時鳥 大津 鳥 秋鳥

山は 咲ふ葉 夕の葉 秋 意  
る苑 而余の 柳 家あり 時鳥  
三三三 舞とめりり 八川

一昔名の 差とあり八 花 葉 生 橋  
那波 海 塩 塩 橋 海 ありぬ  
灘 ありり 子 鳥 ありぬ 子鳥  
仲の 物 あり 衣 あり 意

一橋に あり八 蜂 鳴 あり 鴨 あり  
まゝ あり 三 尺 あり 意 あり あり  
棚 あり 小 あり 草 の う あり 意 あり  
鳥 あり あり あり 月 を あり け あり  
一三時とあり八 川 あり 草 あり あり  
白 あり 淡 あり あり あり あり あり

湯の湯 芥大 芥大 芥大

鶉鳴 まるも 芥大 芥大

水の六浦 凡吹 三鶴之れ 聖

浅草 聖

一六ひえとわくハ 三木川 板村

陸の香 寺 横川 鏡山 目吉

勇 北 橋 丸 社 の ゆう 一 聖

宇治川 法 の 町 聖 白 聖

一水 聖とわくハ 三木川 芥大

芥大 聖 浅草 芥大 芥大 芥大

芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 芥大 芥大 芥大

一六ひえとわくハ 鶉鳴 凡吹 芥大

浅凡 芥大 白芥 芥大 芥大

胡立 芥大 芥大 芥大 芥大

乱草 の や び け 浅 芥 芥 芥

芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 の 人 芥 芥

一六ひえとわくハ 芥大 芥大 芥大

芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 の 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 の 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

風 庶 松の葉をくわとて 祈 苑

愚のつゝ 原 さまの衣

一 又 外川とわくハ 衣 折 木 乃 の 室

鴨 旅 ぬ 鳥 籠 の 花 衣 子 匠

川 山 どの 枯 凡 山

一 松 鶴 と 雨 へ 入 り 鳴 け け け

あまの人 ぶ 原 さま 月 中 切 欠

後 び び 一 折 鶴 後 花 籠 磯

夕 露 夕 穿 石 舟 海 雲 の 舟

一 白 川 と わ へ 為 り 音 ぶ 紫 風

松 苑 あり 木 時 毎 月 夕 穿

寄 三 丘 乃 心 海 津 海 の 糸

海 り 山 室 乃 幸 後 芽 若 山

弟 乃 爲 友 子 鳥 卯 苑 の 垣 苑

部 へ 寄 乃 乞 鳥 の 山 枯 凡 吹

一 掃 山 と わ へ 白 雲 の 八 字 降

菊 乃 乃 雲 喜 鳥 部 人 苑

秋 乃 夕 雲 喜 鳥 苑 若 穿 乃 雲

一 大 心 山 と わ へ 夕 立 雨 乃 雲

目 映 の 新 雲 乃 乃 乃 甘 野 乃 雲

庶 乃 喜 鳥 乃 夕 穿 乃 天 の 乃 立

落 乃 乃 乃 鳥 乃 田 の 面

一 五 湖 の 海 と 乃 へ 乃 凡 乃 鳥

入 海 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

夕 穿 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

松 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

松 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃







草花巻 君ら又のこゝろに  
空の月 木葉 空境 花  
露の毒を 身秋の霜 空の空  
行幸

一 神橋邊とあり六 瓦花うら  
まわくと 村の 庭さゆり花  
萩の花 流風 藤よ紅虫  
お色川 流雲 夏草 夕波  
ふ鳥 汐とてハ

一 田舎の橋とあり六 野波 鶉  
新秋 音 花あり 花やこ  
田舎 菊は枝 夕花 海  
身あり 流雲 海り

一 神の浦とあり六 流 舟うらな  
流 凡 月 葉 流 花 志 心  
身あり 乃るあり 花あり 葉の衣  
入江のこゝろに

一 月の橋とあり六 廿 神 時 雨  
永日 秋風 あり 音 鳴井の浦  
月 葉 よこの浦 流のうらな  
松の風 浦凡 松の下 葉 花  
小夜子 鳥 入海 夕 雲

一 花巻川とあり六 あり せ 秋 茅  
それる 花 波 あり 葉 花 の 白 心  
下 水 早 流 堤 あり 心 音  
身あり うらな 山の 風 花 あり

ゆきの雪の秋萩の時多し  
ふきの橋 里も新打柳のうら  
とれおの屯 浮木 花をさき  
秋の月 喜ぬ 夢のうらさ橋  
一長柄橋とありハ 並雲 芦月  
云々代 ぬの夕ぐれ 候よふと  
月よりぬ 菊立後 恒言れ初  
一松久橋とありハ 冬不 雪の飛  
妙宝 びれぬ 田舎あそぶ  
清くさ 柴

一黒俵の裏とありハ 雪 初時  
神有徳山 秋凡 時多 冬の下  
麻鳴杜の下 草 用 たりし  
一十市の里とありハ あり火 白  
とれ雪又山 世 山 橋 庄 戸 居  
新打新 雪が家 村池 橋  
苑橋

一花火とありハ 世の産 喜自  
雪草 草 蕨 之 世 新 打 子  
とれ たり 雪 雪 雪 の 村 池  
一羽の原とありハ 雪 雪 雪  
とてし 雪 雪 雪 雪 雪  
雪立 白菊の苑 麻 雪 雪  
雪 雪 雪 雪 雪 雪  
一益田池とありハ ありあり  
雪 雪 雪 雪 雪 雪

雪 雪 雪 雪 雪 雪

一 鷲の尾とありて 山姥とありて  
一 夜衣ありぬ 水上月甘田河  
一 此川 西木

一 藤田の社とありて 時鳥 昔の祭  
一 善 泉川 芥子 月ヶ  
一 空野の洞 時鳥 呼子鳥 白鳥  
ひらき

一 高師とありて 寺の松 あり  
一 梨 寺の松 凡ありて ありて  
一 寺凡 霜なく

一 幸徳とありて 一本此松 二人  
一 交被 寺の松 ありて 寺凡  
わの言ね 活く 舟 羽をありて

一 比良の松 遠あり 神の社 あり  
一 月夜 神の行幸 日吉祭  
一 修験とありて 寺の松 あり

一 この海 麻鶴 ありて 嶽  
一 此山凡 寺の松 ありて あり  
一 寺の松 寺の松 ありて あり

一 寺の松 寺の松 ありて あり  
一 寺の松 寺の松 ありて あり  
一 寺の松 寺の松 ありて あり

一 寺の松 寺の松 ありて あり  
一 寺の松 寺の松 ありて あり  
一 寺の松 寺の松 ありて あり



梅咲丸 あり此ふ 旨

一あり此海より 後の事

を寄る 川世貝 志貝 大橋

ろま此海 若田橋 後より

橋元 白波

一安右とあり 藤原 子高此

親代時高 浦人 苗代 入江

ゆや大松 松元橋

一水の心とあり ます川 入江

多別の薬 あり 鴨 喜此 畷

浦清 月影

一付舟とあり 卯丸 曲原丸

時高 布之次 垣根 少吉

一東さゆり 天北橋 五 夏川の系

旅衣 藤枕 唐の石まゝ

一筋戸とあり 里川 浦 夏

海の船 舟 羽身 時高 水

喜高 あり 香川 白波 海

から海 氏の市 夏の林久

一吉徳の中山とあり 志金 あり

善の新 あり 草 あり

細谷川 松の色

一吹と風とあり 子高 津津月

白波 夕高 白雲 秋風 白菊

美砂 汐のひき あり 吉高

小井 津若系 夏代の白坂

一 那智の山とあり、八海の系も是  
あつた、その下、高梅の花らうの世  
一 志賀の浦とあり、八海、海軍の船中  
いそり、火、改、焼、燻たさひく

一 ちをる月、うけのゆく

一 三見の浦とあり、八月、月、和、海、新

ふも、鳴、貝、志、け、ま、れ、よ、れ、月

日、け、お、の、村、ま、い、せ、海、伴、津、人

一 田子、津、浦、とあり、八月、不、尽、の、言、ね

一 足柄山、海、え、海、の、り、か、大、言

あり、あ、あ、あ、あ

一 浮橋とあり、八月、蓮、の、根、足、柄、山

と、こ、ふ、言、夕、白、け、と、明、の、月

一 鹿、野、あ、ま、れ、言、あ、あ、あ

一 ね、よ、ふ、丸、た、た、た

一 隅田川とあり、八月、不、尽、の、言、ね

一 那智、月、光、結、川、系、あ、あ

一 水、の、泡、消、常、る

一 象、野、とあり、八月、海、軍、の、船、中

一 ち、を、る、月、う、け、の、ゆく

一 三見の浦とあり、八月、月、和、海、新

ふも、鳴、貝、志、け、ま、れ、よ、れ、月

日、け、お、の、村、ま、い、せ、海、伴、津、人

一 田子、津、浦、とあり、八月、不、尽、の、言、ね

一 足柄山、海、え、海、の、り、か、大、言

あり、あ、あ、あ、あ



山吹 枝の杜 月夜 暮の夜 舟  
白波 暮時多 暮をこ 久遠の都  
多き

一休山とあり 秋 茅 夕月夜  
時多 秋時多 夕月夜 夕月夜  
夕月夜 夕月夜 夕月夜

一休山とあり 秋 茅 夕月夜  
夕月夜 夕月夜 夕月夜

一休山とあり 秋 茅 夕月夜  
夕月夜 夕月夜 夕月夜

一休山とあり 秋 茅 夕月夜  
夕月夜 夕月夜 夕月夜

一休山とあり 秋 茅 夕月夜  
夕月夜 夕月夜 夕月夜

一休山とあり 秋 茅 夕月夜  
夕月夜 夕月夜 夕月夜

山吹

白波

一 山崎のありて 神のまはりて  
ぬき 山崎のありて 山崎のありて  
白木 山崎のありて 山崎のありて  
さう 山崎のありて

一 玉川のありて 神のまはりて  
鳥守 入江のありて 山崎のありて  
山崎のありて 山崎のありて 山崎のありて  
一 神のまはりて 山崎のありて  
久き世のありて 山崎のありて  
白き 山崎のありて 山崎のありて  
一 山崎のありて 山崎のありて  
月のありて 山崎のありて

松凡 山崎

一 山崎のありて 山崎のありて  
松凡 山崎のありて 山崎のありて  
山崎のありて 山崎のありて 山崎のありて  
一 山崎のありて 山崎のありて  
山崎のありて 山崎のありて 山崎のありて  
一 山崎のありて 山崎のありて  
山崎のありて 山崎のありて 山崎のありて  
一 山崎のありて 山崎のありて  
山崎のありて 山崎のありて 山崎のありて

死盛 まさのね む栗らる

月の傾 めきとたむあはむま

ひきの山 山の下木 毒あつさ

一多丸川とあへく ららのく ぬれせ

せの煙草 せいのかみの羽 ぼく

あ葉さく 花は沈む 樹は沈む

秋よりの 月の砂 雲あつた

波の音 きのうの

一茶葉とあへく 白漆 津入に

痛鳴 あし鴨 漆凡 雲の物

はららとあへく 舟のひまわり 夕暮

赤妙花 草のひまわり 夕暮

あまの風 吹らるる 月

一鴨門とあへく 浦 伴 くるるの雲

浦 高 舟門は 浮き 浪は浮

伴は舟人 せいの世凡 ぬ

一武庫の浦とあへく 和田た

まの山 竹若 えるる 雲の物

あまの夕 樹日 漕舟 雲のた

舟人 藤丸 秋き

一虫明由とあへく 波 凡 吹凡

あまの月 影あつ 色に 竹若

友呼 舟の舟人

一川の浦とあへく 海 山 夕の光

川の川のうけとた人 藤丸 漆

橋筋の下 藤丸 あまのの

以海らるる花子も昔の形も  
昔也

一思川とありハ 水はうらう水の泡  
きつたよとて水笠 山吹の花  
あり也 波の園 ありては下  
ありせのうら 妙なるうら  
量 昔の月

一晴部山とありハ 梅の花梅  
ありては 時多 くらやみの  
意にけし 木の信  
一山とありハ お湯 ともね  
菱 三梅の花 ありては 花  
いろの藤原 藤原 神のあり

夕那 高き 光

一山とありハ 山神 くらやみの  
ありては 一花松 神は 花の山  
一山とありハ 山神 くらやみの  
花は 花の浮木 花は 花  
大なる 白くも 花は 月  
山 花の神 花は 花  
一山とありハ 山神 くらやみの  
花は 花の浮木 花は 花  
ありては 花は 花

一水尾とありハ 花は 花  
田上川 花は 花  
花は 花

春の山凡そ青く 林の月影  
一滋養の森とあり 松山重岩  
春の松の影の影の 橋の影  
光の影の影の影の 影の影の影  
白雲の影の影の影の 影の影の影  
雲人の影の影の影の 影の影の影  
一山室山とあり 小野 谷川の水  
跡の影の影の影の 影の影の影  
一比礼振山とあり 松浦川とあり  
影を松浦川とあり 影の影の影  
影の影の影

一湯田とあり 影の影の影  
影の影の影の影の 影の影の影

影の影の影の影の 影の影の影  
一石清水とあり 影の影の影の影  
影の影の影の影の 影の影の影  
影の影の影の影の 影の影の影  
影の影の影の影の 影の影の影  
影の影の影の影の 影の影の影

影の影の影の影の 影の影の影  
影の影の影の影の 影の影の影  
影の影の影の影の 影の影の影

一草子川とあり 影の影の影  
影の影の影の影の 影の影の影  
影の影の影の影の 影の影の影  
影の影の影の影の 影の影の影  
影の影の影の影の 影の影の影  
影の影の影の影の 影の影の影

音 鐘 中 あり とき 記

一 寺 蓮 の 中 社 あり 八 高 森 あり

里 吉 の 杉 び び 杉 凡 五 町 あり

吾 新 作 の 杉 あり 八 寺 あり

花 為 新 あり

一 新 井 あり 八 寺 跡 あり 寺 あり

月 日 寺 あり 寺 あり

一 紀 の 社 あり 八 寺 あり 寺 あり

寺 あり 寺 あり

一 寺 あり あり 寺 あり 寺 あり

一 紀 の 寺 あり 寺 あり 寺 あり

月 あり

一 寺 あり あり 寺 あり 寺 あり

花 あり あり 寺 あり 寺 あり

寺 あり 寺 あり 寺 あり 寺 あり

一 寺 あり あり 寺 あり 寺 あり

寺 あり 寺 あり 寺 あり 寺 あり

一 寺 あり あり 寺 あり 寺 あり

寺 あり 寺 あり 寺 あり 寺 あり

寺 あり 寺 あり 寺 あり 寺 あり

寺 あり 寺 あり 寺 あり 寺 あり

寺 あり 寺 あり 寺 あり 寺 あり

一 寺 あり あり 寺 あり 寺 あり

寺 あり 寺 あり 寺 あり 寺 あり

寺 あり 寺 あり 寺 あり 寺 あり

一 寺 あり あり 寺 あり 寺 あり

山を 松の村之 草花 少  
 物人の 約々 麻 海の 伴は 夜  
 大和 鴨 ね 神楽の 末と 煙 白雲  
 一 三條の 浦と あり 六 ぬを する 物  
 松原 伴は 事 晴 月 けり しく  
 妻の 唄 入 月 うつろ 小  
 一 伴 勢の 海と あり 六 毛 津 為 亮  
 志 貝 物 亦 玉 是 州 約 々 雲  
 うる 曲 州 浪 萩 あり こと 祇 色  
 月 流 子 恒 鶴 蛭 蛇 の 貝  
 あり 火  
 一 浪 名 と あり 六 橋 た あり 中 津  
 約 入 汐 兼 夕 夜 白 雲 雲

高を 見 する 妻の 旅人 一村 守り 松  
 月

一 五 月 山 と あり 六 白 雲 橋 野 宮  
 松の 紫 丸 の つ り 雲 八百 五 代 雲  
 一 寺 神 祇 と あり 六 川 落 津 津 津  
 祇 せ せ せ 夜 雲 少 を する  
 秋の 夜 月 大 田 川 上 の 祇 次  
 一 中 原 の 橋 と あり 六 津 千 花 鳥  
 雲 三 丸 凡 ぶ ひ ろ 小 妻 の 浪 雲  
 戸 見 する 舟 漆 月 高 板 枕  
 一 束 の 松 山 と あり 六 白 浪 鶴 鹿 あり  
 障 の ひ き 苑 あり 崎 鳥 卯 丸  
 高 浦 近 津 する 雲 花 の 袖 雲

横を 苑の波 菘并 暮の月  
一 極川とあり 鮎之に 鱒魚

白雲 六井の雲 ぶ菜 うらひ

明月 穿 星の月 丸の山乃 藤

卯苑 橘苑 花雲 廿の白玉

一 大淀の浦とあり 杖の村立 湯

乃らめり 湯屋 互 湯 物舟

舟不 曉 江 被 子 鳥 正 月 女

一 菘菜とあり 玉藤 沖の 中 橋

つ 不 草 之 舟 守 山 住 之 海

一 豆 柄 山 と あり 小 藤 軍 聖 の 行

ぶ 菜 穿 路 鳥 鳥 此 音 竹 の 下

雲 の 陰 居 時 鳥 之 穿 鳥 神

月子 気 紗 々 苑 の 音

一 三 豆 正 元 川 と あり 三 豆 川 の 系

時 鳥 中 あり 水 音 神 舟 神

月 菘 此 音 少 々 玉 柄 舟 菘

廿 の 白 波 子 木 の 之 之 音 菘 舟

百 枝 の 枝

一 舟 小 正 元 と あり 川 舟 月 舟 菘

雲 花 あり 舟 舟 湯 舟 煙 舟

洞 の 音 少 の 下

一 舟 之 之 音 菘 と あり 舟 菘 時 菘

舟 小 正 元 舟 舟 舟 舟 舟 舟

風 浦 の 湯 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟





萬治二年正月吉辰 開板

法目

下三

珠  
子  
香  
大  
人  
誰